

令和5年度第2回地域包括ケアシステム検討委員会次第

日時 令和5年11月21日(火) 10:00～

場所 高梁市役所 3階大会議室1

1. 開 会

2. あいさつ

3. 協議事項

(1) 高梁市14地区ミーティングの状況について(報告)

テーマ:「高梁市の高齢者の移動支援について」

(社)高梁市社会福祉協議会生活支援コーディネーター 石村 主事

(2) グループワーク・意見交換

① 高梁市14地区ミーティングの結果の感想・意見について

② 情報整理や支援サービスの周知のために

4. その他

- ・ボランティア養成講座
- ・家族介護者のつどい
- ・高梁市医療介護市民公開講座

5. 閉 会

第3回予定: 令和6年2月14日(水) 10:00～ 3階大会議室1

地域包括ケアシステム検討委員会名簿

区 分	所 属		氏名	グ ル ー プ	備考
運営協議会委員 所属機関、団体の 実務者	社会福祉法人高梁市社会福祉協議会		第2層 生活支援 コーディネーター	村上 小代子	欠
	社会福祉法人高梁市社会福祉協議会			石村 直希	1
	高梁医師会在宅医 療・介護連携協議会	高梁かんごねっと	コーディネーター	細川 令子	2
運営協議会会長が 必要と認める者	学識者	かとう社会福祉士事務所	社会福祉士	加藤 貴之	欠
	在宅介護施設	グリーンヒル順正 在宅介護支援センター	センター長	平松 智布美	3
	主任介護支援専門員	岡山県介護支援専門員協会高梁支部	支部長	山根 由美	1
		岡山県介護支援専門員協会高梁支部	主任介護支援専門員	難波 早苗	2
	第2層協議体	高倉民生委員児童委員会	会長	渡邊 日出治	3
		備中地区福祉委員連絡会	会長	後内 久雄	1
	認知症施策検討委員会	まつうらクリニック	作業療法士	河本 良二	2
見守り連携	生活協同組合おかやまコープ 組合員活動グループ	エリア理事 エリア事務局	村上 利知巳	3	
オブザーバー	岡山県社会福祉協議会		地域福祉部 地域支援班 主事	島田 二千翔	欠
	吉備国際大学		保健医療福祉学部 作業療法学科	山本 倫子	1

事務局	地域包括支援センター	所長	内岡 登美香	1
		参事	山本 直美	2
		所長補佐	森本 敦	3
		主査	助實 雅子	1
		主査	今西 佳奈	2
		主事	惣田 大輔	3

	高梁	津川	川面	巨瀬	中井	玉川	宇治
① 困りごと →希望	<ul style="list-style-type: none"> ・近くのスーパー（共栄、サカエ、西ストア、石黒、プチ原田、稲岡肉店）がなくなり、買い物に行けない。 ⇒助け合い車両や総社雪舟君のようなサービスが欲しい。 ・バス停まで行けない。 ⇒もっと小回りの利く乗合タクシー制度にしてほしい。 ・高齢者は高額なタクシーしか移動手段がなくなる。 ⇒安価な福祉バスやタクシーのしくみが欲しい。移送サービスの条件を拡大してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バス停までが遠い ⇒自宅まで来てくれるサービス（乗合タクシー）が欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢で運転が危ないが、返納したら足に困るので、できない ・タクシーしか利用できないので高額 ⇒移送サービスの条件を拡大してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢で体調が悪い時は運転できず困る ⇒買い物代行サービス ・社協の移送サービスを知らず、タクシーを利用していた ⇒移送サービスの周知が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・急な用事が出来た時に足がない。家族がいない時には出られない ⇒タクシーの割引券 ・免許返納したため、移動手段がない ⇒免許返納後のサービスの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・山の上に家のある方は、下に降りるまでに（バス停に行くまでも）車が必ず必要となるので、なかなか免許返納ができない。 ⇒家まで来てくれるサービスがほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活福祉バスを利用している。高齢になり宇治停留所から自宅まで歩くのが大変。 ⇒バス停から自宅までの送迎があればよい。
② 地域の工夫やうまく いっている 事	<ol style="list-style-type: none"> ① ポルカ配達代行サービス 100円で1時間内にきた。重い荷物も安心 ② ポルカ買い物代行サービス 電話で当日配達：3,000円以上配達無料、3,000円未満500円 雨天やタクシーでないと出られない高齢者身障者、子育てママに好評 ③ 循環バス、イズミシャトルバス 福祉タクシーで買物や銀行に行く ④ 町内で買い物に行く人と乗り合わせていく ⑤ 小高下の元気なからだ作り隊は、総社天満屋：とくしまるが来ている 	<ol style="list-style-type: none"> ① ミニデイは近所の人に送迎してもらう ② 買い物は知人の送迎 ③ 病院受診、買い物は公共交通機関（バス、電車、タクシー）を利用 	<ol style="list-style-type: none"> ① 通所付添サポート事業（ミニデイやカフェ）による通いの場の送迎 	<ol style="list-style-type: none"> ① 地元商店（おぐる商店）に配達してもらっている ② 移動販売車が複数入っている ③ 移動販売車（とくしまる：総社天満屋）で好きなものを買、そのあと公会堂で小集団でお喋りをする ④ 茶屋集会所で毎月茶話会をする。お弁当を買って一緒に食べる 	<ol style="list-style-type: none"> ① 福祉バスや移動販売車（マルナカ）により、助かっている ② 地域の互助により、買い物等の送迎をしてくれる ③ 老人クラブで会員相互が送迎をしている 	<ol style="list-style-type: none"> ① たけんち（デイサービス）利用時、にこにこCafé 参加時に、移動販売車（マルナカ）で買い物。 ② 病院受診は子どもに送迎をお願いしている。 	<ol style="list-style-type: none"> ③ 宇治限定で移送サービスをしている（サロンや美容院への社会参加） ④ 生活福祉バス（愛カード半額）の利用
③ 今後必要なサービス・しくみ	<ol style="list-style-type: none"> ① 明確に制度がわかる周知や相談窓口がわかる周知が必要 ② 通所付添サポート事業をすすめる 	<ol style="list-style-type: none"> ① 通所付添サポート事業をPRし、誘い出す ② 免許返納による割引 ③ 移動販売車の導入（JAや民間） ④ 生活福祉バスの導入 	<ol style="list-style-type: none"> ① 買い物ツアー ② タクシー券の配布（事務簡素化） ③ 移送サービスの条件拡大 	<ol style="list-style-type: none"> ① 町内診療所への送迎に地域福祉活動車（EV車）を使う ② 町外の医療機関へ受診する人を自宅からバス停までの間を送迎する仕組み ③ バス停までの移動手段の確保（セニアカー・電動自転車等）、駐輪場の確保 ④ 送迎ボランティアによる市民センターの電気自動車の活用 	<ol style="list-style-type: none"> ① 高齢者や障害者に分かりやすい情報の周知（福祉バス含） ② 通所付き付添サポート事業をすすめる ③ バス停まで出られない人も多い。ドアツードアのサービスとして乗合タクシーやタクシーチケット、ふれあいタクシーの活用を検討する ④ JAは縮小。マルナカの移動販売車の見直し 	<ol style="list-style-type: none"> ① 市民センターに来たマルナカ：おまかせくんに配食ボランティアをする仕組みづくり ② 移動販売車への助成金 	<ol style="list-style-type: none"> ① 買い物しやすい環境づくり（移動販売車の活用、買い物ツアーなど外出支援）
④ その他	<ul style="list-style-type: none"> ・高梁駅北と南で利用サービスがちがう ・北側はイズミシャトルバスや備北バスでイズミに行く。南側はポルカに行く ・バスの段差を小さくしてほしい ・セブンイレブンが配達してくれるが、会員にならないと配達してくれない ・コンビニに地元の食材を置いてほしい ・巡回バスが店に停まってほしい ・移送バスがバス停のない地域を巡回してはどうか 	<ul style="list-style-type: none"> ・津川はJR 備北バスが通っているため、公的な福祉バス・乗合タクシーは導入できていない ・タクシーは、高梁から呼ぶので、料金が上がる ・郵便物を出したくても郵便局まで行けないとき（ポストが遠い等）、郵便局が郵便物をもって来た際、旗を出していたら声をかけて手続きをしてくれるようなサービス 	<ul style="list-style-type: none"> ・下と上の交通利便性がちがう ・マルナカの移動販売が役立っている ・衣類の買い物をどうしているのか疑問 ・今後は、ふれあいタクシーに移行するのではないか ・月一回常会を開いている町内会もあり、集まりの場となっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動販売の曜日変更は業者が対応できない。運行ルートの検討は都度必要。（とくしまる、マルナカ） ・巨瀬は集会所でのお茶会や出た子どもの訪問が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・中井タクシー会社（タケモト）が閉店した 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動販売車への補助金 ・ドローンを活用した買い物支援 ・タクシー券の助成 	<ul style="list-style-type: none"> ・乗合タクシーの検討 ・地元商店に移動販売をお願いしたいが、採算が合わないとのことで対応は難しい状況。

	松原	高倉	落合	有漢	成羽	川上	備中
① 困りごと →希望	・バス便数が少ない	・移動手段がない ⇒タクシーチケットの配布	・平地だが徒歩ではお店まで遠いので困っている。また、高齢になり物を持って移動は大変。	・車に乗れなくなったのでどこにも行けない。 ・移送サービスの利用拡大(買い物に利用したい)	・生活福祉バスが通っているが、バス停まで遠い。 ⇒川上、備中の乗合タクシーが良い ・独居高齢者が多く外出頻度が減っている	・いきいき交流館の送迎 ⇒送迎時、川上局や農協によって用事をさせてほしい。	・タクシー料金が高い ⇒安価なサービス ・受診科の日にふれあいタクシーの運行がない ⇒ふれあいタクシーの運行日増加 ・移送サービス ⇒利用要件を緩和してほしい(介護申請や非課税要件)
② 地域の工夫やうまく いっている事	① 移動販売車の利用や近所の協力 ② 通所付添サポート事業(ミニデイ)による通いの場への送迎 ③ シルバー人材センター運転手による送迎(ミニデイ)	① 地元商店の宅配 ② タクシー券を購入し活用	① ポルカやイズミの宅配サービス利用 ② イズミや仲田医院が近い、JAや生協の利用。 北山町内は市営住宅など6カ所にマルナカ移動販売が運行 ③ 福地地区はタクシー券を利用している方が多い。	① 既存サービスの利用や近所の協力 子供の協力	① 河内魚屋や川上雑穀店、JA、コープ、北房の移動販売が役にたっている ② 地域近所の乗り合わせ	① 生活福祉バスとふれあいタクシーがある それぞれ病院受診や買い物に利用している ② 地形的に移動販売車が回りやすい。地元商店の電話注文や生協、JAなど衣料品や日用品の販売もある。 置き薬あり	① 現行のサービスを使う ② 緊急時は近所に頼む ③ カフェ開催に合わせて雲白の弁当の移動販売有(ほとんどの人が購入)
③ 今後必要なサービス・しくみ	① 移動販売の充実 ② 今ある資源をなくさない	① 移動手段や生活支援の情報を周知 ② ふれあいタクシーの検討	① 宅配サービスや移動販売の充実 ② 高齢者や障害者にもわかりやすい正確な情報の周知	① 移送サービスの車両やボランティア人数の確保 ② ドローンの拡充	① 高齢者や障害者でもわかりやすい情報の周知	① 高齢者や障害者にもわかりやすい周知方法 ② ふれあいタクシーの運行時間の見直し	① 移送サービスの登録要件の緩和(介護申請や非課税要件) ② 備中ふれあいタクシーの増便
④ その他	・大津寄重光、畑は合同で月1回集会をしている	・秋町にバス運行してほしい ・免許返納に伴う移動手段の確保 ・タクシーチケット配布地区だが、川面のピオーネ交通がなくなったので高梁まで受診すると足りない。 ・急な病気、骨折の時移動手段がない。	・グリスロは町内だけなら利用価値低い。 ・中に救急車が入れない。安全な道路交通に関する要望が多い	・不要になったセニアカーの活用方法	・ポルカなど移動販売車の情報を知りたい。	・生活福祉バスを小型化し増便してほしい ・タクシーを安くしてほしい ・ふれあいタクシーを増便してほしい。 ・時には買い物に連れて行ってほしい。	・タクシー定期券(月5回) ・娯楽のために使えるバス(新見方面へ) ・タクシーを安価にしてほしい ・いざという時頼める車が欲しい